～国産材時代への挑戦～

カラマツシンポジウム in 鳥取

カラマツは，かつて「捩(ね)じれやすく，扱いづらい木」として建築材での利用は敬遠されていました．現在では「強度・耐久性・デザイン性に優れる高価値な国産材」として，評価が180度変化しています．本町における過去に植栽された成林および近年植栽された幼齢林の調査結果から，カラマツはスギとヒノキに次ぐ『第３の造林樹種』として，充分な適性を持つことも確認されています．

このたびのシンポジウムでは，そんなカラマツを今後も植栽していくことの有利性や優位性，再造林のあり方などについて語り合います．

《基調講演》「カラマツ林業が切り拓く未来」

講師：赤 堀 楠 雄 氏（林材ライター）



1963年生まれ，東京都出身．林業・木材産業専門新聞社勤務を経て，1999年からフリー記者として森林・林業・木材・木造建築などに関する取材・記事執筆に従事．著書に「林ヲ営ム～木の価値を高める技術を経営～」(農文協)，「いきいき信州の森林・上下巻」(長野県林業コンサルタント協会)，「変わる住宅建築と国産材流通」（全国林業改良普及協会）などがある．長野県上田市在住．

《事例発表》

❶日南町樹木育苗センターとカラマツ特定母樹採種園について
日南町森林組合　代表理事組合長　木 村 実 次

❷再造林に向けたカラマツ苗木の安定供給技術
～日南町におけるハイブリッド型苗木生産システムの実証～
株式会社大林組　技術本部　下 山 真 人

❸カラマツ植栽適地と植栽方法について
鳥取県林業試験場　主任研究員　柴 田　寛

❹カラマツによるＬＶＬ加工について
株式会社オロチ　代表取締役社長　相 見 晴 久


日南町樹木育苗センター


カラマツ開放型
特定母樹採種園


カラマツ苗木生産
パイロットプラント(大林組)


町内でのカラマツ
の植栽(4年目)


町内産カラマツによる
ＬＶＬの試作(オロチ)

と　き　2026年11月19日(木) 13:30～16:00（13:00開場）

ところ　日南町総合文化センター　さつきホール

入場無料

特典
希望者にカラマツの苗木をプレゼント！

共催　NPO法人フォレストアカデミージャパン・日南町森林組合

後援　日南町・鳥取県・㈱大林組・㈱ウッドカンパニーニチナン・㈱オロチ